

<p>【技術の名称】 スーパーラップル エルニード工法 -スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第08-22号 性能証明発効日：2009年3月3日</p> <p>【取得者】 有限会社ネオニード 株式会社エルニード東北</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【技術の概要】

本技術は、掘削によってほぐした土を掘削部に投入し、これに固化材と水を添加して独自形状のバケットを用いて攪拌することでブロック状の改良体を築造する地盤改良工法である。本技術の特徴は、支持地盤を直接確認できること、未固結改良土の状態を直接確認し、固化材量や水量を調整しながら施工できることである。

【技術開発の趣旨】

直接基礎を支持しうる地盤が基礎底面から数mの深度に存在する場合、固化材粉体を用いた浅層地盤改良工法やラップルコンクリート工法が用いられることが多い。固化材粉体を用いた浅層地盤改良工法では、固化材を混合した掘削土を締固める必要があり、改良体の均質性に問題がある。また、ラップルコンクリート工法では、掘削土の処分が必要となり、経済性および環境面での問題がある。本工法は、これらの問題を解消することを意図して開発したもので、施工工程が少ないので工期を短縮できるとともに、掘削残土の発生量が少ない工法である。また、スラリー状の改良土を掘削孔内で十分に攪拌するため、均質性の高い改良体を築造できる技術である。

【性能証明の内容】

申込者が提案する「スーパーラップルエルニード工法施工・品質管理指針」に基づいて築造される改良体は、砂質土で 150～3000kN/m²、粘性土で 150～2000kN/m² の設計基準強度を確保する事が可能であり、配合設計及び品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として砂質土で 25%、粘性土で 30%が採用できると判断される。

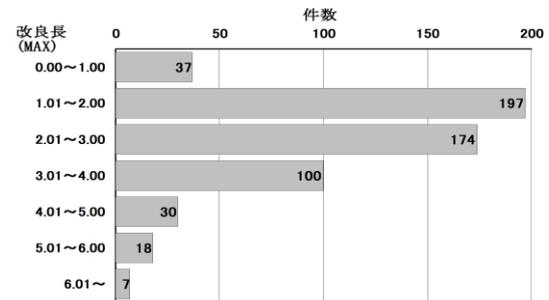
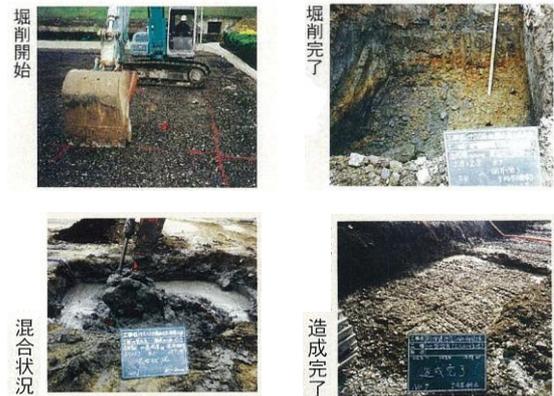


図 5.1 改良長の施工実績

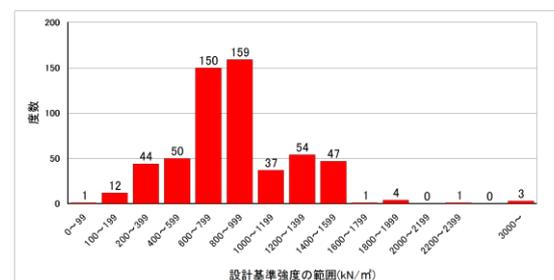


図 5.2 設計基準強度の施工実績

【本技術の問合せ先】

有限会社ネオニード 担当者：岡田信彦 E-mail：okada@elknead.com
 〒761-0113 香川県高松市屋島西町2107番41 TEL：087-841-0161 FAX：087-841-8759
 株式会社エルニード東北 担当者：長洞寿博 E-mail：nagahora@elknead.com
 〒982-0803 宮城県仙台市太白区金剛沢1丁目4-8アイリスビル1F TEL：022-743-6423 FAX：022-743-6424